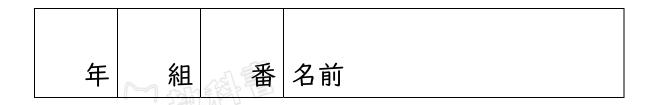


「忘れもの」定期テスト対策練習問題



問l 「忘れもの」の詩はいくつの連でできていますか。**漢数字で** 答えましょう。

問2 第一連のなかから、季節がわかることばを3つ、それぞれ 3字以内で詩の中からぬき出して答えましょう。

問3 第一連の「素晴らしい夕立」とは、何がどうしたものですか。次の文の(ア)~(ウ)に入るように、詩の中のことばを使って答えましょう。

「(ア)」のかわりに(イ)が (ウ)たもの

【ア】
【イ】

【ウ】





問4 「忘れもの」の詩のテーマとしてもっとも正しいものを 次の中から選び○でかこみましょう。

ア: 夏休みの楽しかった思い出

イ:新学期がはじまることを楽しみに思うきもち

ウ:夏休みが終わったことを残念に思うきもち

エ:忘れものをしてしまって、あわてるきもち

問5 第一連の中から、夏休みが終わってしまったことを残念に 思うきもちが現れていることばを7字でぬき出して答え ましょう。

問6 第二連の「けさ」とはいつのことですか。次の中から選び ○でかこみましょう。

ア: 夏休みがはじまった朝

イ:夏休みが終わる日の朝

ウ: 夏休み中のある日の朝

エ:新学期の朝

問7 第三連の「キミ」とは誰(何)のことですか。詩の中から ぬき出して答えましょう。





問8 「忘れもの」とはどんなものですか。詩の中から3つ、 ぬき出して答えましょう。

問9 「忘れもの」の詩のなかで、「ぼく」のきもちが一番よく 表現されている連を**漢数字で**答えましょう。

問 I O 「夏休みはいってしまった…素晴らしい夕立をふりまいて」や、「もどってこないかな 忘れものをとりにさ」のように、ふつうとはことばの順番がいれかわっている部分がありますが、これはどんな効果を生み出していますか。次の中からもっとも正しいものを選び○でかこみましょう。

ア:読む人の印象に残るようにしている

イ:詩が不思議で面白いものに感じる

ウ:夏休みがまるで生き物のように感じる

エ:きまったリズムが生まれるようにしている



「忘れもの」定期テスト対策練習問題(解答)

問 四

【解説】「連」とは、「大きなひとまとまり」のこと。 「忘れもの」の詩は、大きく4つのまとまりでできて いるので、連の数は四が正解。

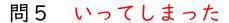
- 問2 · 入道雲
 - ・夏休み
 - ・タ立
 - ※順番はどれが先でもOK。

【解説】入道雲は、夏にできる雲。夕立は、入道雲が降らせる 夏の雨。夏休みも、夏ということがわかることば。

問3 【ア】サヨナラ 【ウ】ふりまい

【イ】夏休み

問 4 ウ



【解説】「いった」ではなく、「いってしまった」ということばが使われていることで、夏休みがいってしまったことを残念に思うきもちが伝わる。



問6 エ

【解説】 第一連で、「夏休みはいってしまった」と書かれていることから、夏休みはもう終わってしまっているね。「あたらしい光」ということばからも、あたらしい一日のスタート、つまり新学期の日の朝と考えることができる。

問7 夏休み

【解説】 「だがキミ! 夏休みよ」とあるように、「夏休みよ」と続いていることから、キミとは夏休みのことであることがわかる。

問8・迷子のセミ

- ・さびしそうな麦わら帽子
- ・ぼくの耳にくっついて離れない波の音
- ※順番はどれが先でも良い。

【解説】「波の音」だけでは×になることもあるので、「ぼくの耳にくっついて離れない波の音」まで答えたほうが安心。

問9 三

【解説】「忘れもの」の詩のテーマは、夏休みが終わって しまったことを残念に思うきもち。 第三連では、終わって しまった夏休みが「もう一度もどってこないかな」と 「ぼく」のきもちが一番ハッキリと表現されている。





問IOア

【解説】 ことばの順番をいれかえる表現を、「倒置法」 といって、読む人の印象に残る効果がある。

ウは、「夏休みはいってしまった」というような表現の 方法のこと、

工は、「ずっと5文字」など、きまった文字数でくりかえ したりする詩の表現の方法のこと。





